（水上村）第７期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート【区分①：自立支援、介護予防、重度化防止】

取組テーマ	第７期目標				R2年度（2020年度）実績			
	目標設定時点における現状と課題	具体的な取組	目標	計画書記載ページ	実施内容	目標達成状況・自己評価	課題 （目標の達成状況に関する理由や原因等）	課題に対する改善策 （R3(2021）年度以降）
①健康づくり・介護予防	・2025年まで後期高齢者人口は減少傾向であるが、高齢化率は増加傾向にあり、医療と介護の両方を必要とする人の増加や認知症高齢者の増加が考えられるため、後期高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防の取組が重要。 ・しかし、村内には公共交通機関が少なく、既存の介護予防拠点（村内3箇所）に、高齢者が継続的に通うことは困難であり、歩いて通える拠点づくりが必要。	高齢者が自発的な介護予防の取組ができるよう、行政区毎に住民主体の「通いの場（週1回以上開催）」の立ち上げを推進する。	第7期計画期間中、新規で10カ所以上（年度毎に新規で3ヵ所以上）の住民主体の「通いの場」の立ち上げ及び運営を支援する。	P42、43	・通いの場を含めた介護予防活動への参加回数に応じてポイントを交付し、参加意欲の向上に繋がった。 ・活動拠点の施設整備（公民館手摺り設置、空調設備設置）を1か所で実施。	・住民主体の「通いの場」（週1回以上開催）の現行開催地区：14地区 ・村内全行政区のうち、9割近くの行政区にて実施 ・令和3年度（2021年度）実施に向けて、未実施の1地区に説明実施	・参加登録者のうち、健康上の理由以外の理由で自発的に参加をやめる人が各地区で散見されていたが、介護予防活動への参加回数に応じたポイント発行により、参加の動機付けになった。 ・未実施地区では通いの場に対する認識、リーダーの育成、介護予防効果の周知が必要。	・昨年度に引き続き、通いの場を含めた介護予防活動の参加回数に応じ、ポイントを交付し、参加意欲を高める。 ・未実施地区の参加を促すための介護予防効果の丁寧な説明・周知や啓発を行う。